

令和6年度第1回ゆりが丘まちづくり会議のご報告

○会議の目的

ゆりが丘は平成元年に分譲開始以来、30年以上が過ぎ、美しい緑に囲まれながら太平洋を一望できる丘の上の街として市街地環境が形成されてきました。

現在は時間経過による居住者の世代交代や転出、また、少子高齢化などが進みつつあります。

このことから、将来予想される様々な問題の発生を未然に防いでいくため、「人口の回復を早める策を検討すること」を当面のまちづくりのテーマとして地域の皆様と検討していくことを目的としています。

令和6年6月19日（水）19：00より、ゆりが丘公民館会議室で令和6年度第1回ゆりが丘まちづくり会議をおこないました。

会議の結果・概要は以下のとおりです

（1）まちづくり会議の目的等について

⇒出席者でまちづくり会議の目的を確認しました。

（2）令和5年度まちづくり会議の振り返りについて

⇒出席者で令和5年度まちづくり会議の振り返りをおこないました。

（3）令和6年度まちづくり会議の運営等について

⇒令和5年度まちづくり会議を踏まえ、コアメンバーとサポートメンバー区分を止め、まちづくり会議のメンバーを一本化することとしました。

また、将来ビジョンも再検討することとしました。

ゆりが丘まちづくり会議について



【目的】

ゆりが丘は平成元年に分譲開始以来、30 年以上が過ぎ、美しい緑に囲まれながら太平洋を一望できる丘の上の街として市街地環境が形成されてきました。

現在は時間経過による居住者の世代交代や転出、また、少子高齢化など近年では、ゆりが丘地区は年間 100 人ほどのペースで人口が減少しています。

このことから、将来予想される様々な問題の発生を未然に防いでいくため、「人口の回復を早める策を検討すること」を当面のまちづくりのテーマとして地域の皆様と検討してきたいと考えます。

【取組にあたり】

地域対策の取り組みは地域全体で考え、最終的にはそれぞれの立場や活動分野を越えて連携することで、一人ひとりが自分事として捉えられるよう、また、取り組みに積極的に参画してもらえるよう気運を盛り上げていくことが重要です。

■まちづくりの基本姿勢



【組織について】

令和4年度に勉強会や組織運営を行う委員（コアメンバー）について町内会から2名ずつを選出いただき、その後、地域に関わる組織等からワークショップに参加いただく委員（サポートメンバー）を選出いたしました。

ゆりが丘まちづくり会議の構成

10名程度

町内会代表の委員（コアメンバー）

+

10名程度

住民、学生、地元企業、PTAなどの地域に係る組織や団体を中心とした委員（サポートメンバー）

勉強会の他、運営、周知等について検討していただきます。他サポートメンバーと同様。

ワークショップにおいてご意見、アイデア、施策等の検討など。

【ゆりが丘地区と名取市の歴史～昭和50年以降～】

西暦（和暦）	内 容	備 考
1975年（S50）		名取市役所新庁舎完成
1977年（S52）	伊藤忠都市開発㈱により開発スタート	宮城農業高校開校
1985年（S60）	ゆりが丘事業認可	施行面積 108.82ha、計画戸数 1710戸、計画人口 6840人
//	ゆりが丘市街化区域編入 139.5ha	館腰駅開業
1986年（S61）	ゆりが丘造成工事	S61.8（8.5豪雨）
1989年（H元）	ゆりが丘分譲開始	尚絅短大名取校落成
//	ゆりが丘地区計画策定	相互台分譲開始
1990年（H2）	海に見える丘公園整備完了	那智が丘団地分譲開始
1993年（H5）		ゆりが丘小学校開校
1998年（H10）		みどり台中学校開校、仙台空港 3000m供用開始
2004年（H16）		ゆりが丘児童センター開館
2007年（H19）		仙台空港アクセス線開通
2009年（H21）	ゆりが丘地区計画 C地区追加	ヤマザワ跡地を住宅系に変更
2011年（H23）		東日本大震災
2022年（R4）	ゆりが丘地区計画 D地区追加	尚絅学院の一部を住宅系に変更

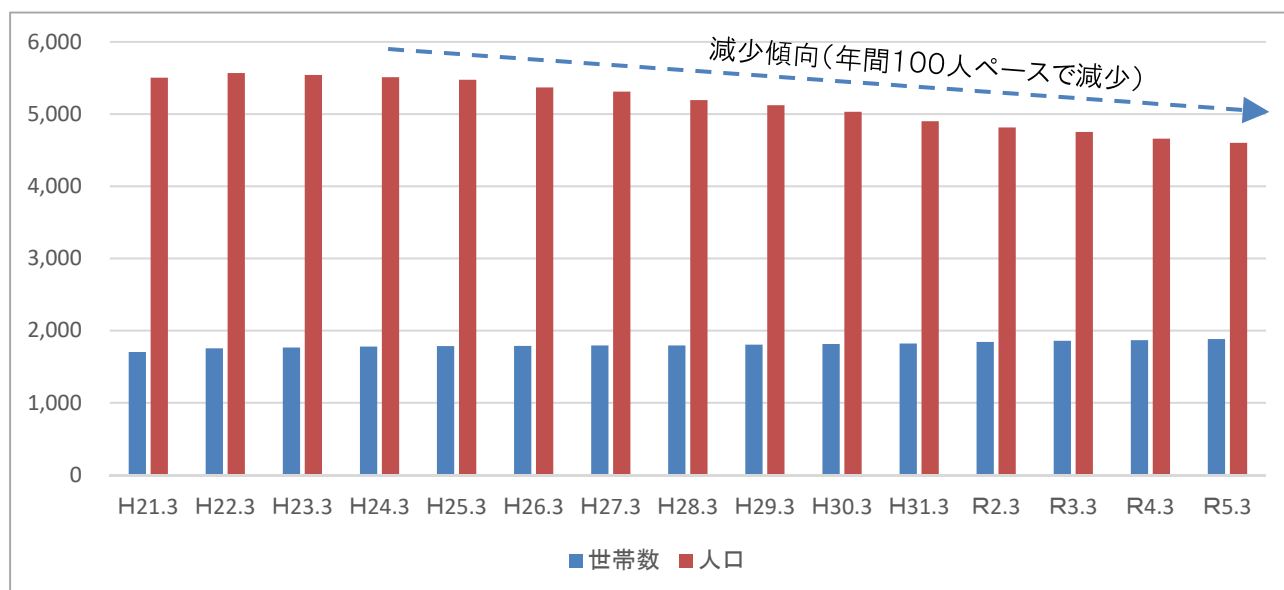
※白抜き：ゆりが丘関係

【各種データ関係】

■ゆりが丘の人口推移①

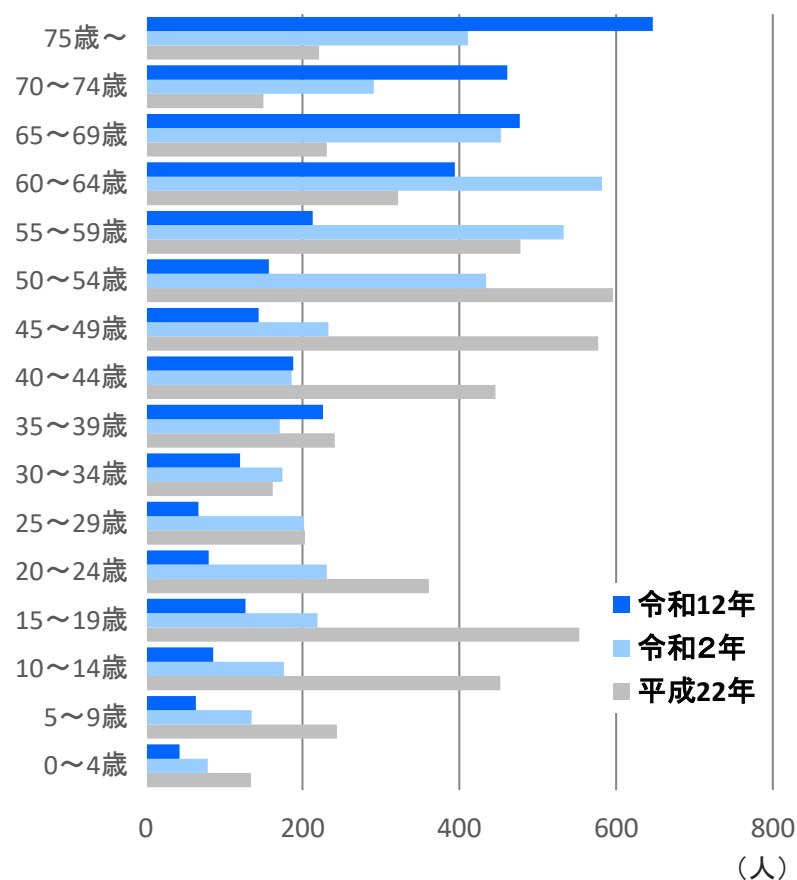
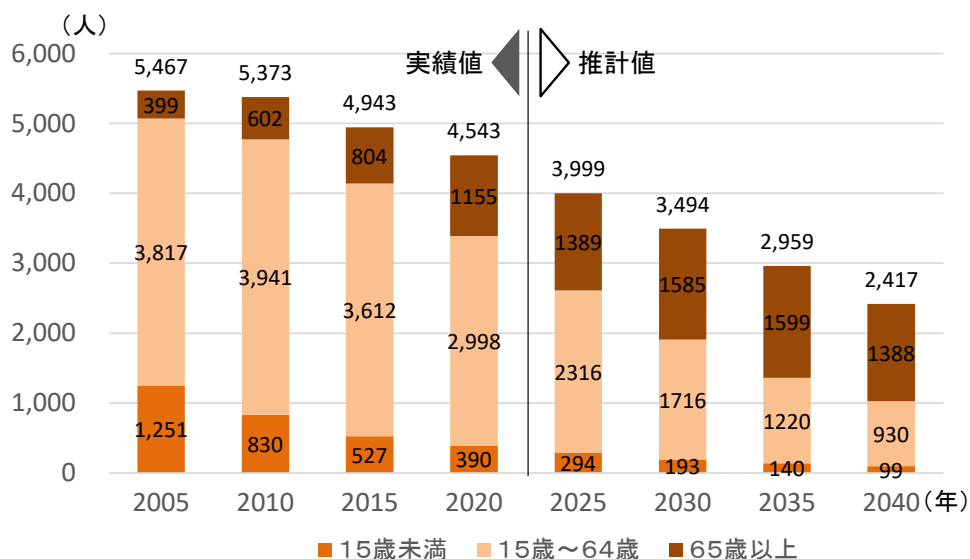
ゆりが丘の平成 21 年から令和 5 年までの 15 年間の人口推移となります。平成 25 年から人口が 100 人/年ペースで落ち始めています。一方、世帯数は増加を続けていることから高齢化した親世帯が分離していると考えられます。

	ゆりが丘	
	世帯数	人口
H21.3	1,702	5,503
H22.3	1,754	5,567
H23.3	1,766	5,541
H24.3	1,778	5,511
H25.3	1,784	5,474
H26.3	1,788	5,369
H27.3	1,793	5,311
H28.3	1,793	5,192
H29.3	1,804	5,122
H30.3	1,814	5,031
H31.3	1,820	4,900
R2.3	1,842	4,813
R3.3	1,858	4,751
R4.3	1,868	4,659
R5.3	1,883	4,602



■ゆりが丘の人口推移②

2005 年（平成 17 年）以降、ゆりが丘の人口は減少傾向にあり 2020 年（令和 2 年）には 4,543 人まで減少しています。今後も減少傾向で推移する見通しであり、一方、65 歳以上の人口は増加する見通しです。特に、今後 10 年間は 70 歳以上の人口が増加する見通しです。



資料：国勢調査、将来人

注：人口の推計値は地域の土地利用状況や面整備事業の予定地等を加味したものではなく、2020 年の人口を基準に地域別の生存率、準移動率、子ども女性化、0～4 歳性比に基づき計算した値です。世帯数の計算値は、令和 2 年の世帯人員に基づき計算した値です。

■高齢者関連

・高齢者独居世帯数 176世帯（令和4年度末時点）

・要介護認定者数（基準日 8.31）

要介護度	地 区	15 年前 (H20)	10 年前 (H25)	5 年前 (H30)	現在 (R5)
要支援 1	名取市	59	325	437	534
	ゆりが丘	1	12	26	37
要支援 2	名取市	137	401	489	477
	ゆりが丘	7	20	31	30
要介護 1	名取市	348	475	658	782
	ゆりが丘	7	13	25	37
要介護 2	名取市	529	550	527	590
	ゆりが丘	21	17	12	28
要介護 3	名取市	441	365	364	429
	ゆりが丘	15	15	14	25
要介護 4	名取市	356	346	380	433
	ゆりが丘	8	14	13	16
要介護 5	名取市	269	270	267	350
	ゆりが丘	4	15	15	14
合 計	名取市	2139	2732	3122	3595
	ゆりが丘	63	106	136	187

■消防関連

・ゆりが丘地区の救急搬送件数

	2018	2019	2020	2021	2022
出動件数	105 件	119 件	100 件	123 件	135 件
搬送人数	101 人	114 人	92 人	113 人	120 人

・ゆりが丘地区の事故種別救急件数

年別 事故種別	2018	2019	2020	2021	2022
火 災				1 件	
自 然 災 害					
水 難					
交 通	7 件	6 件	1 件	5 件	2 件
労 働 災 害			1 件		
運 動 競 技				1 件	2 件
一 般 負 傷	17 件	16 件	13 件	23 件	22 件
加 害					
自 損 行 為	2 件	1 件			1 件
急 病	79 件	95 件	85 件	93 件	107 件
そ の 他		1 件			1 件
合 計	105 件	119 件	100 件	123 件	135 件

【住民アンケート】

ゆりが丘住民アンケート調査は、ゆりが丘のことをどのように感じておられるのかをお聞かせいただくことにより、これからの将来ビジョンや取組を検討するための基礎資料としていくためのものとして下記の日程で行いました。

（調査期間） 令和 5 年 9 月 25 日（月）～10 月 9 日（月）

（調査対象） ゆりが丘在住の 15 歳以上の方から無作為に抽出された 1,000 人

（調査方法） 郵送により発送し、ご記入後、同封の返信用封筒にて返送。無記名調査。

（回答内容） 別紙のとおり

【今後のスケジュール(案)】

【令和5年度】

<u>令和5年9月25日(月)</u>	<u>9/25(月) 発送～10/9(月) 締め切り</u>
<u>10月19日(木)</u>	<u>勉強会</u> (※コアメンバー対象)
<u>10月29日(日)</u>	<u>第2回ワークショップ</u>
	①ゆりが丘まちづくり会議の目的、地域の実状等
	②アンケート結果
	③第1回ワークショップの報告
	④グループワーク
	・地域の将来ビジョン
	・実現への取組
<u>令和6年2月頃</u>	<u>令和5年度報告会</u>
	①まとめ(推進合意)
	②令和6年度に向けて
	・プロジェクト計画期間設定
	・組織について

【令和6年度】

- ①プロジェクトの計画について
- ②具体的事業に向けて方策検討

※内容/日程は変更する場合がございます。

令和 5 年度
ゆりが丘まちづくり会議
実施結果

1. まちづくりの検討方法のおさらい

(1) まちづくり会議のスケジュール案

まちづくり会議の取組は、3カ年を予定

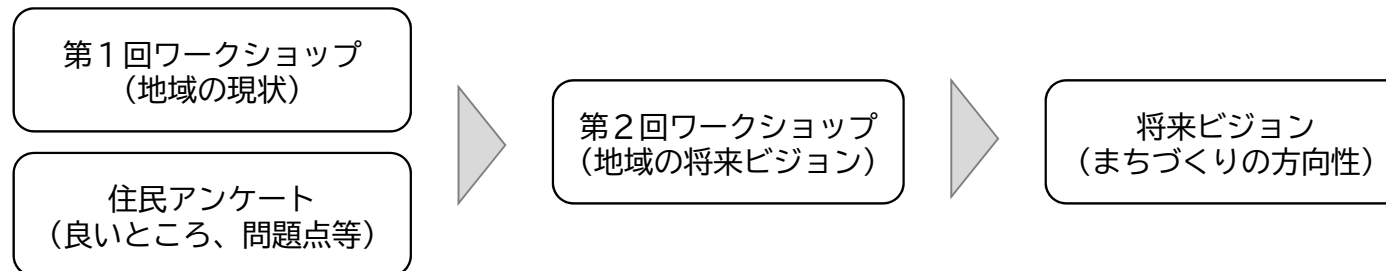


注) 検討状況によってはスケジュールを変更する場合があります。

(2) 令和5年度検討方法

第1回ワークショップ、第2回ワークショップ及び住民アンケートを材料に、地域にお住まいの方々等の意見を基にした「将来ビジョン」を検討

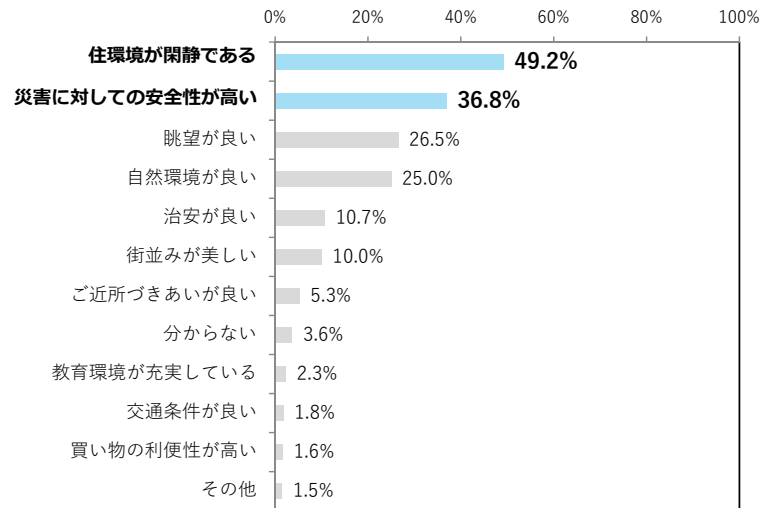
(3) 令和5年度の検討の流れ



2. アンケート及びワークショップの結果概要

(1) 住民アンケートの結果概要

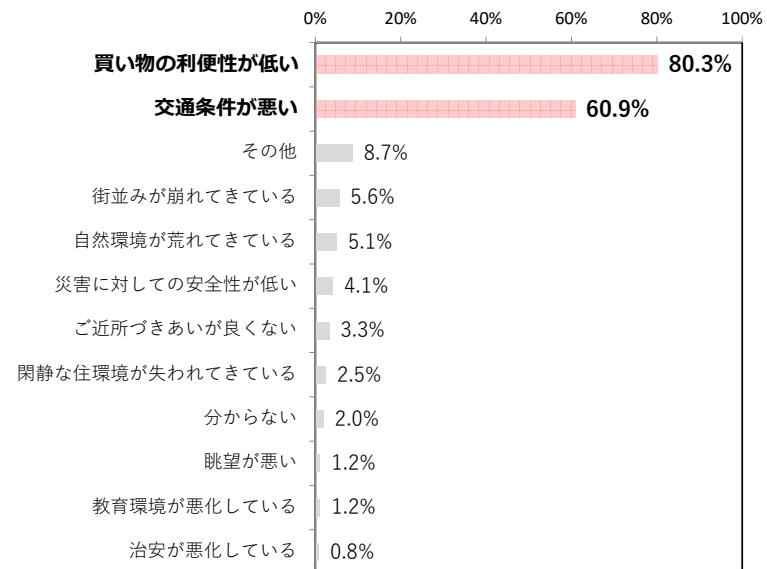
【ゆりが丘の魅力について】



ゆりが丘の魅力	回答数	得票率
眺望が良い	161	26.5%
ご近所づきあいが良い	32	5.3%
街並みが美しい	61	10.0%
住環境が閑静である	299	49.2%
教育環境が充実している	14	2.3%
自然環境が良い	152	25.0%
買い物の利便性が高い	10	1.6%
交通条件が良い	11	1.8%
治安が良い	65	10.7%
災害に対しての安全性が高い	224	36.8%
分からない	22	3.6%
その他	9	1.5%
回答者数	608	—

⇒ 閑静な住環境や災害に対しての安全性が評価されている

【ゆりが丘の課題について】



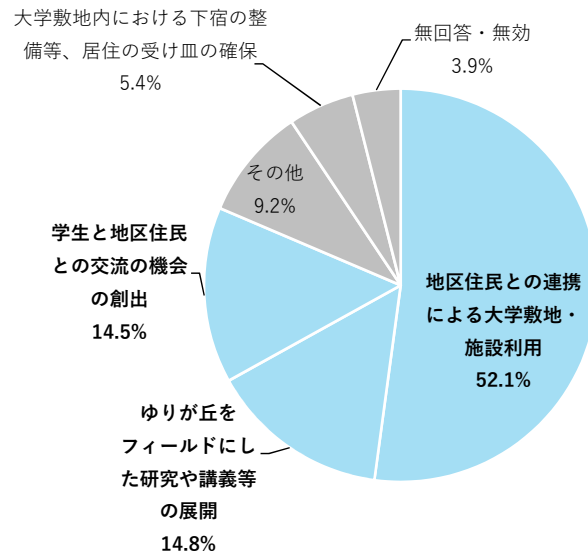
ゆりが丘の課題	回答数	得票率
眺望が悪い	7	1.2%
ご近所づきあいが良くない	20	3.3%
街並みが崩れてきている	34	5.6%
閑静な住環境が失われてきている	15	2.5%
教育環境が悪化している	7	1.2%
自然環境が荒れてきている	31	5.1%
買い物の利便性が低い	488	80.3%
交通条件が悪い	370	60.9%
治安が悪化している	5	0.8%
災害に対しての安全性が低い	25	4.1%
分からない	12	2.0%
その他	53	8.7%
回答者数	608	—

⇒ 買物の利便性と交通条件が課題として認識されている

2. アンケート及びワークショップの結果概要

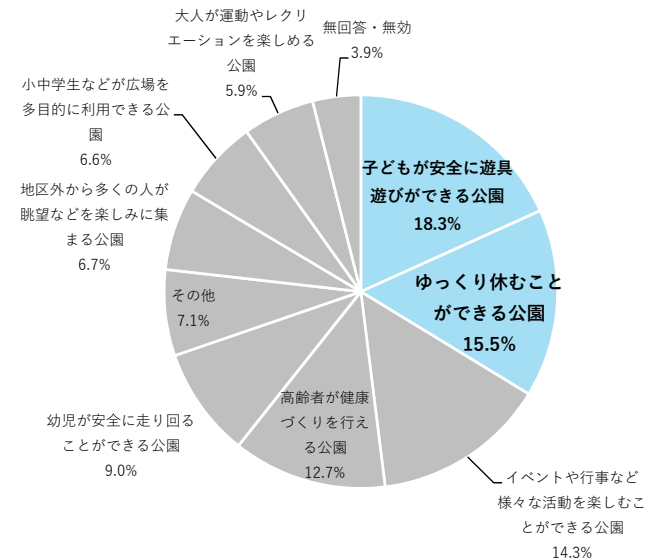
(1) 住民アンケートの結果概要

【尚絅学院大学について】



⇒ 大学敷地・施設利用が期待されていた

【海見える丘公園について】

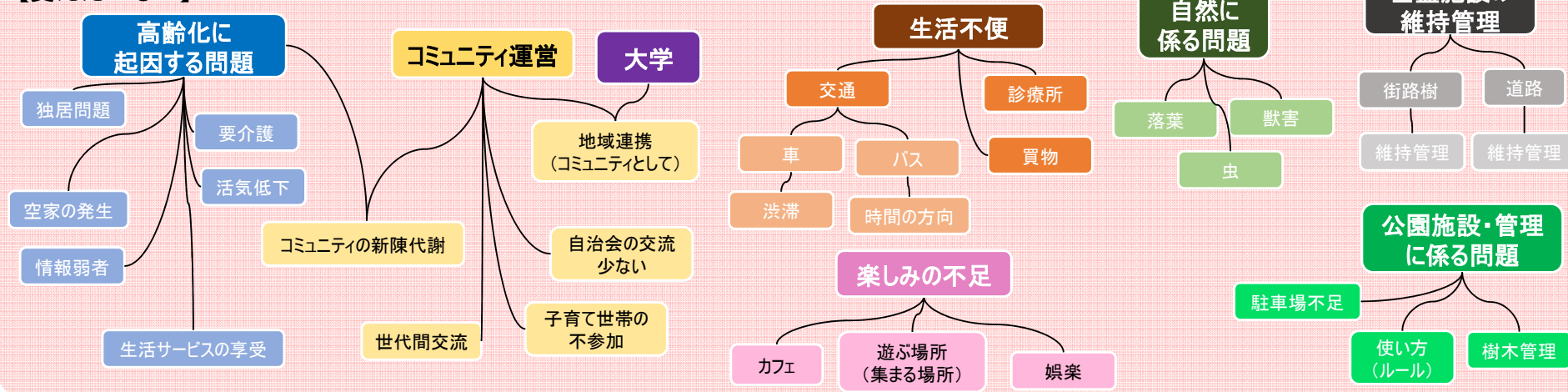


⇒ 多様な役割・機能が期待されている

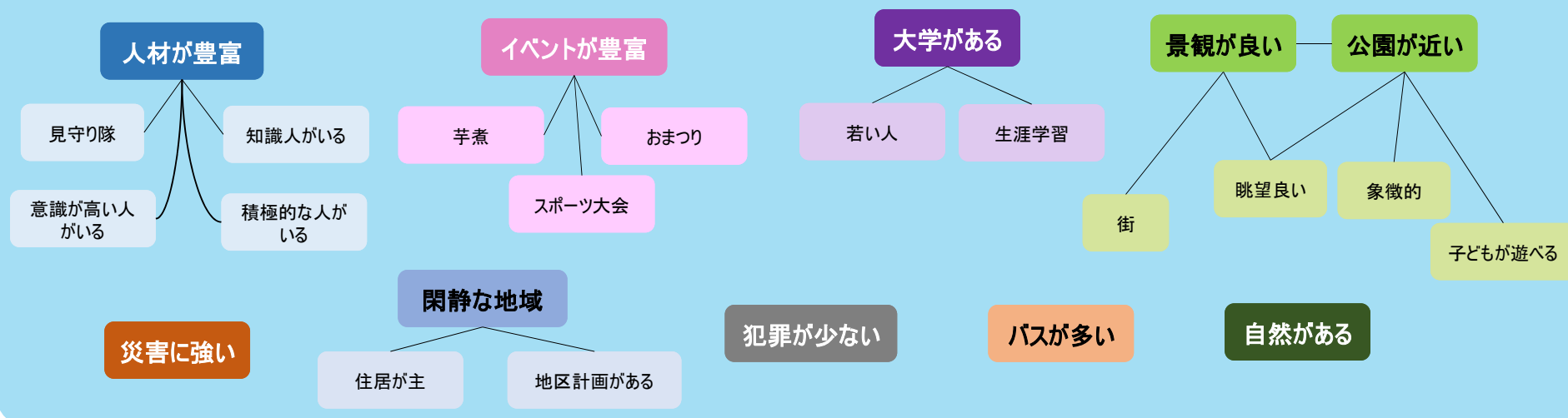
2. アンケート及びワークショップの結果概要

(2) 第1回ワークショップの結果概要

【変えたいもの】



【残したいもの、活かしたいもの】



2. アンケート及びワークショップの結果概要

(3) 第2回ワークショップの結果概要

【将来ビジョン】

- ・コミュニティ内のハードルの低いまちづくり
- ・世代間交流のあるまちづくり
- ・住みやすく住民のコミュニケーションがあるまち
- ・多世代の交流が活発なまち
- ・高齢者・若者のそれぞれのことを考えられるまち

- ・地域と大学の連携が活発なまち
- ・大学生が自治に関わる街

- ・楽しみのあるまち
- ・自然の楽しみ
- ・楽しいまち

- ・住民維持のまち

【将来ビジョンの実現に向けた方策】

円滑なコミュニティ運営

- ・活動組織の情報共有、連携
- ・自治会運営マニュアルをつくる
- ・自治会役員の世代交代

楽しめる場の創出

- ・海に見える丘公園の再整備
- ・空き家に企業を誘致（カフェ、ショップ等）

組織づくり

- ・地域づくりに関わる組織
- ・第3セクター立ち上げ
- ・ビジネスモデルをつくる
- ・活動組織の情報共有

大学との連携

- ・市や住民から大学のサークルに課題解決を依頼
- ・自治体と連携する授業をつくる

健康に暮らせる環境整備

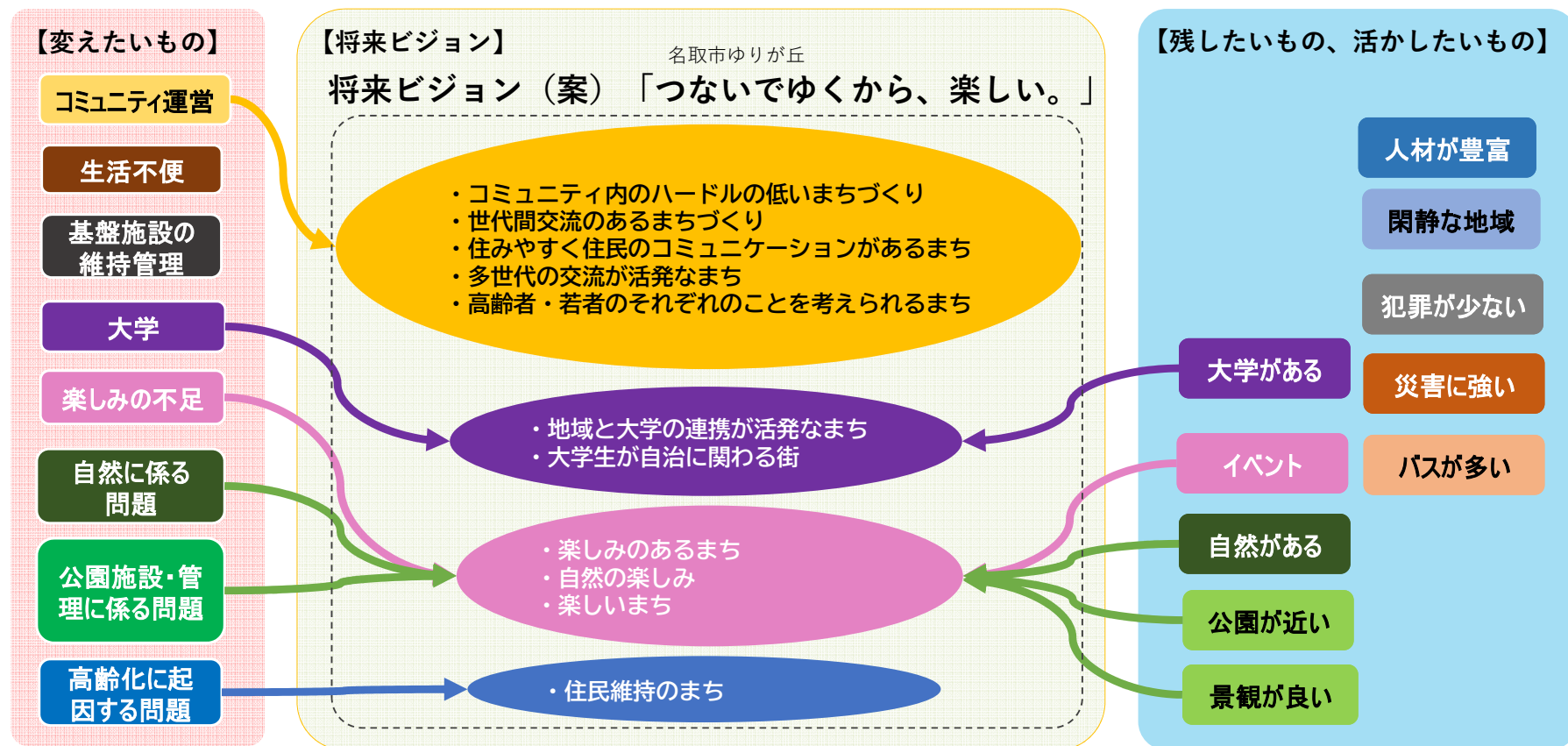
- ・比較的平坦な散策路の整備

デジタルを活用した情報共有

- ・情報共有
- ・SNS発信
- ・情報発信の多様化
- ・独居者等見守りのためのデジタルツール利用
- ・スマホ教室の開催

3. 将来ビジョン（まちづくりの方向性）の整理

- ・ アンケートの結果と第1回ワークショップの結果を踏まえて、第2回ワークショップで検討された「将来ビジョン」は、コミュニティに関するものを中心に集約され、明確な方向性が打ち出されました。
- ・ これは、ゆりが丘の住民に共通の意識が存在するためと考えられます。
- ・ 皆さまからいただいたご意見を踏まえ、ゆりが丘の将来ビジョン（案）を「つないでゆくから、楽しい。」として定め、目指す方向性を共有した上で来年度以降の具体的な取組・活動を継続していくことが考えられます。



5. 令和5年度の結果と今後の取組の方向

令和5年度の結果

1. ゆりが丘の将来ビジョン（まちづくりの方向性）

- ・高齢化の進行や世代間の価値感の違い等を背景とした「コミュニティ」に関して意見が集中しました。
- ・加えて、自然環境の活用も含めた「楽しみのあるまち」の方向性、さらに「大学との連携があるまち」の方向性打ち出されました。
- ・このような将来ビジョンの実現に向けて、以下を柱とした方策を皆様は考えています。

①円滑なコミュニティ運営

②大学との連携

③楽しめる場の創出

④健康に暮らせる環境整備

⑤デジタルを活用した情報共有の改善

⑥組織づくり

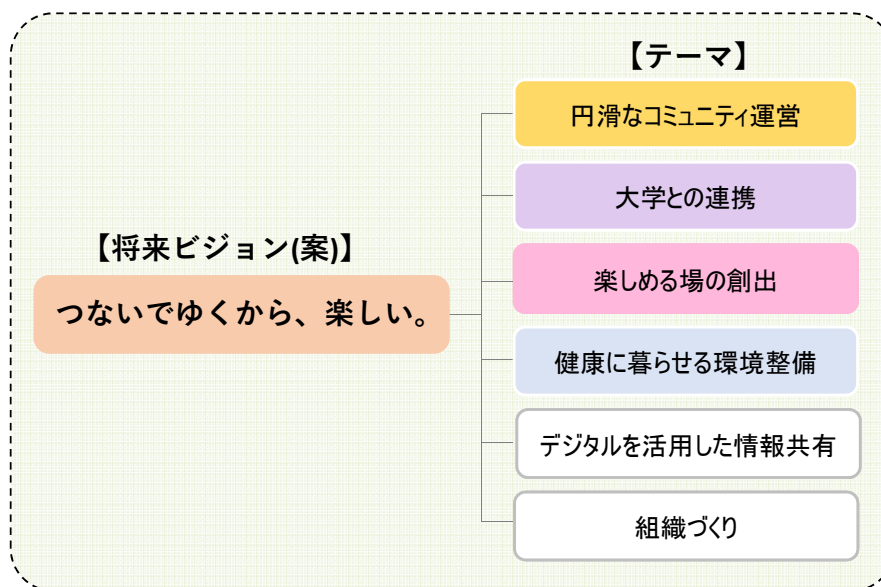
2. ゆりが丘まちづくり会議の運営について

- ・ワークショップや勉強会において、若い世代の会議への参加を望む意見がありました。

令和6年度以降の取組の方向（案）

1. テーマ別のまちづくり会議の運営

- ・令和5年度に整理した6テーマに分けた運営が考えられます。
- ・テーマ毎に具体的な取組方策についてお住まいの方々や関係者を交え検討していくことが考えられます。



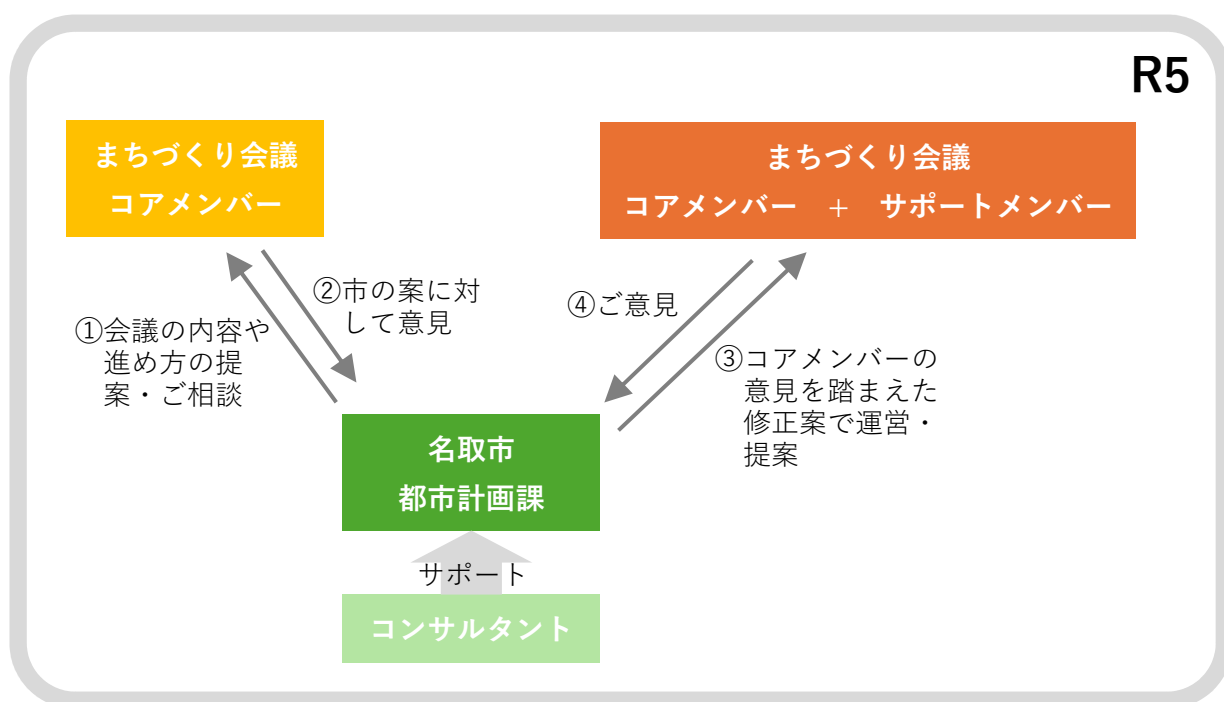
2. ゆりが丘まちづくり会議の組織改編

- ・コアメンバーとサポートメンバーの区分を廃止し一本化することが考えられます。
- ・若い世代のメンバーを加えることが考えられます。

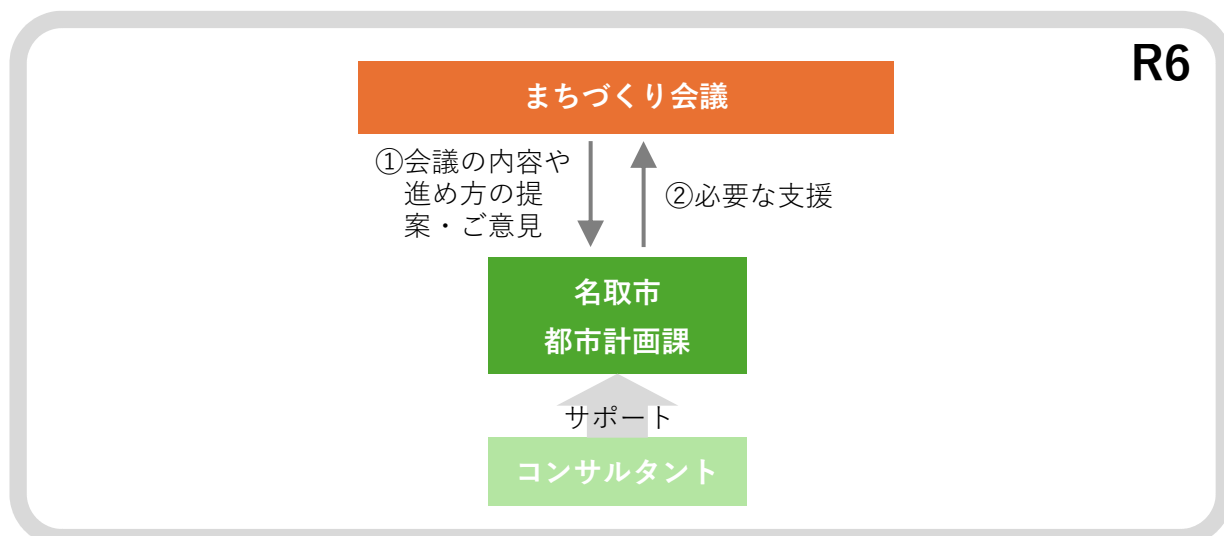
令和6年度まちづくり会議の運営等

1. まちづくり会議の運営

- ・令和5年度のまちづくり会議の運営は、会議のテーマの妥当性や運営の円滑化を目的として、コアメンバーへの事前相談を経たうえで、サポートメンバーを含むまちづくり会議を実施する体制で行ってきました。

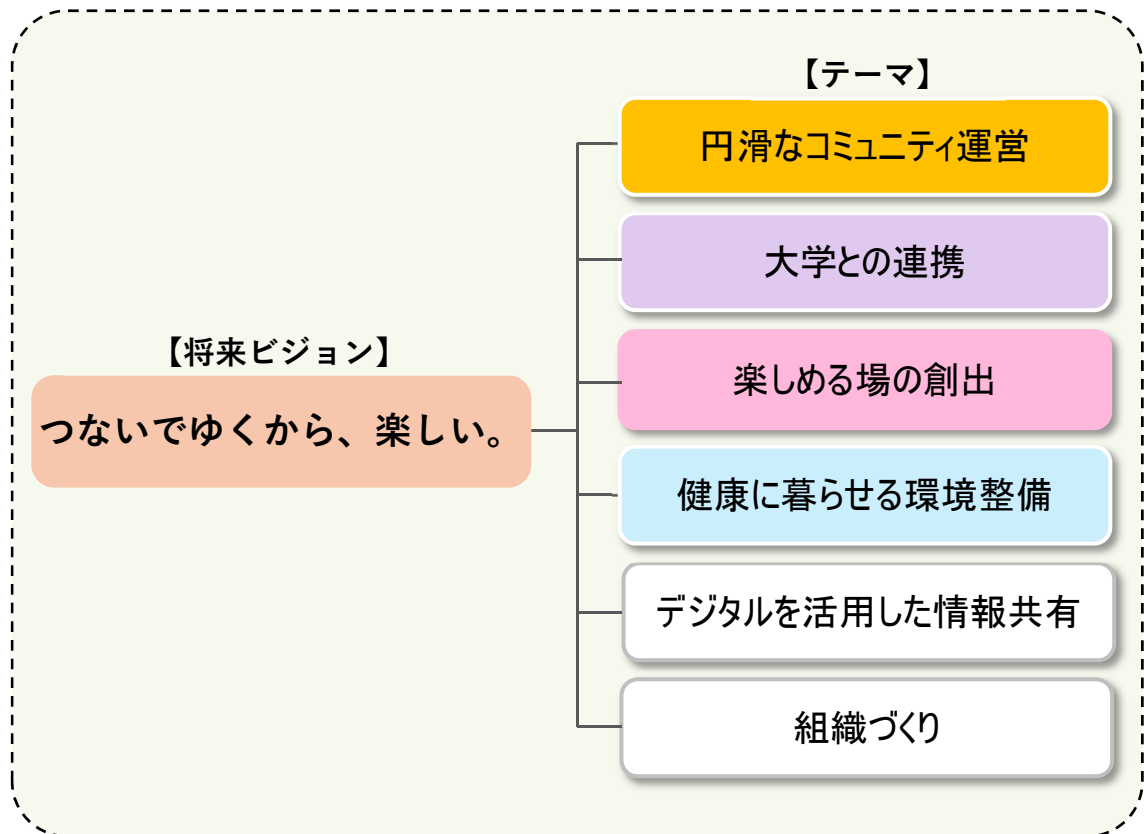


- ・令和6年度のまちづくり会議の運営は、会議の情報・認識共有をしやすいするため、以下のような運営体制で進めることが考えられます。



2. 令和6年度のまちづくり会議の議論のテーマ

- ・ 令和5年度のまちづくり会議にて、以下のような将来ビジョンを策定し、テーマを6つに絞り込みました。



- ・ これらを今年度の議論の参考にしていただければと思います。